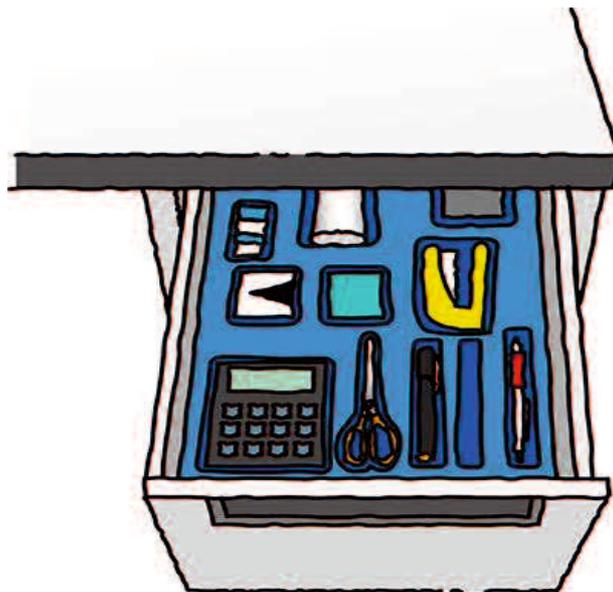


1. 1月全国行事
1) 年末年始無災害運動 12月15日～1月15日
2. 安全・衛生・防災の心得 : 「形式的、思いつきの」ではなく 今一度『4S』を見直し、徹底を図ろう
3. システム監査 良い事例(抜粋)
4. 事故・災害事例から : アンモニア水が跳ね、目を負傷
5. ヒヤリハット事例 : 狭小場所での激突

2. 安全・衛生・防災の心得 : 「形式的、思いつきの」ではなく 今一度『4S』を見直し、徹底を図ろう
安全で衛生的、能率的で働きがいのある快適職場を目指すためには『4S』(整理・整頓・清掃・清潔)が欠かせません。そしてこの『4S』は、形式的、思いつきのではなく、安全・衛生・能率・品質の観点からリスクアセスメントを行い4Sを次のように定義して徹底を図ることが大切です。
○整理の定義は
必要なものと不必要なものを区分し、不必要なものを安全に処分(廃棄又は再利用)する。
○整頓の定義は
必要なものを使いやすいように並べ明示する。危険・有害なものは、決められた場所に、決められた方法で保管する。
○清掃の定義は
機械・設備・環境などの点検整備と併せて「ゴミなし・ヨゴレなし」にする。
○清潔の定義は
作業着や身体などが汚れる環境や作業方法を改善し、常に身の回りを衛生的に保つようにする。

『4S』の管理・活動を有効に推進するためには4Sの基準を明確にし、次の事項についてみんなの理解と実行が大切です。

- ▼自分の4Sの受持ち区域や周辺に責任を持つ。
- ▼担当する設備や機械、工具や器具の3S(整理・整頓・清掃)に責任を持つ。
- ▼清掃当番等は責任を持ってしっかり果たす。
- ▼4Sの管理・活動が定着しているか、定期的にみんなでチェックする…など。



3. システム監査 良い事例(抜粋)

①平塚第二工場(防錆)

顔写真入りのスキル認定一覧



②総合技術研究所

ジメチルエーテルの保管注意表示



4.事故・災害事例から : アンモニア水が跳ね、目を負傷

2010/4/22 関西技術センター

(1)災害のあらまし

硝酸銅溶液を中和するため、アンモニア水(濃度28%)容器を持ってスポットにて落下後にアンモニア容器を机の上に置いた際、容器からアンモニア水が跳ね目に入った。

(2)被災程度

左目炎症、不休、全治3日間

(3)原因、問題点及び再発防止策

1)人的要因 : 毒劇物をドラフト外で取扱った 机の上の置き方も雑であった

→毒劇物は必ずドラフト内での取扱うよう周知徹底する 危険性を考慮し取扱いは丁寧に行う

2)物的要因 : 保護めがねを未着用で作業した

→保護具の看板表示が目に入りやすいよう大きくし着用することを徹底、保護具重要性の再教育実施

3)管理的要因 : 安全上の取り決めや注意事項が不足していた

→安全作業手順書の作成と再教育の実施

(4)環境安全部から

当社は原材料や試薬等様々な化学物質を使用しています。以前からこれらの化学物質による薬傷事故が続いており、今期に入っても2件発生しています。(8月 海外技術センター、11月 関西工場)いずれも不不休災害でしたが、薬傷事故は被災部位や物質によっては重大災害に繋がります。事故原因としては主に作業方法の問題、保護具の未着用(または不適切な装着)、危険有害性の認識不足等が挙げられますが、これらはある程度教育訓練やKYT、相互チェック等で未然防止が可能なものです。TBMやRMS活動の中で日常的に取り上げ、薬傷事故防止に取り組みましょう。

5. ヒヤリハット事例 : 狭小場所での激突

事例	狭小場所での激突
どこで	客先工場内で
あらまし	配管ルートを追いつながら移動していた時、ヘルメットのつばで視界が見えづらくなり、狭い場所だったため、ヘルメットをぶつけた
原因	狭小場所での注意不足
教訓・対策	常に周囲への注意を怠らない 万々に備えヘルメット等保護具は絶対に着用